

令和6年度の重点課題

- 新体力テストの総合評価のAB率 35.0%、DE率32.5%、((AB-DE)率 2.5%)
- 第5学年の男女とも、「立ち幅とび」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体では、「立ち幅とび」「ボール投げ」が低い傾向である。
- 全体では、外遊びをしない児童の固定化が見られ、放課後等の学校外での外遊びの機会も減少している。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「立ち幅とび」「ボール投げ」「上体起こし」を高めるため、パワーアップタイムで練習機会を設けた。
- 児童会の体育委員会が主体となって、年に2回、ドッジボールクラスマッチを行い、投げる運動の普及を図った。
- 年間を通して、パワーアップタイムを行い、長縄や短縄での運動や体づくり運動に取り組ませた。
- 規則正しい生活習慣を身に付けさせるために、養護教諭を中心に保健指導を行った。
- スタディ・ログを活用して自己の動きを客観的に振り返って課題発見や解決につなげたり、やってみたい動きや運動を蓄積したりすることを通して、「分かった」「できた」「がんばった」を実感する取組を行った。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.88	19.07	29.48	41.33	52.70	9.36	145.33	18.74	52.87	第5学年	14.88	13.70	36.83	38.80	41.67	9.53	140.60	13.80	56.20

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.88	19.07	29.48	41.33	52.70	9.36	145.33	18.74	52.87	第5学年	14.88	13.70	36.83	38.80	41.67	9.53	140.60	13.80	56.20

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	68.97	20.69	10.34	0.00	第5学年	60.00	20.00	10.00	10.00

学校独自の意識調査

【7・12月に行った児童アンケートの肯定的回答】

Q 友達と体を動かすことが楽しいですか？ A 94.4%(7月) → 96.9%(12月)

【研究の実践後に行った児童アンケートの肯定的回答】

Q スタディ・ログに溜めた自分の考え(姿)を振り返ることで、問題の解決に役立てるなど新しい学びへつなげることができましたか。 A 86%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

【情意面】

- 意欲的に授業に参加できるようにするために、段階的な目標を設定し、小さな成功体験を積み重ねることができるようにする。
- 授業の「振り返り」の工夫を行い、「できたこと」に注目させることで、他人との比較ではなく個人の伸びを評価・自覚させる時間を設ける。

【体力面】

- 授業中での運動量を確保するために、主運動につながる感覚づくりの運動を充実させる。
- 運動遊びを行うことで、楽しみながら基礎動作が身に付くようにする。
- ICTを活用することで、自己の課題を客観的に振り返り、より合理的で効果的な動きが身に付くようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

【情意面】

- 年2回のドッジボールクラスマッチを通して、学級で外遊びをする機会を設ける。
- 遊び方の紹介など、体育委員会が中心となって、全校で体を動かす機会を設ける。
- 養護教諭の保健指導により、生活習慣の見直しを図る。

【体力面】

- 年間を通して週3回のランニングに取り組み、基礎的な体力を高める。
- 基礎体力や柔軟性・瞬発力など、新体力テストに向けた動きの質などを高めることができるように、体力テストまでの期間は課題種目に特化した取組を、パワーアップタイムで行う。

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える割合が89.7%である。(第5学年 前年比:10.3%↓)
- 女子
 - ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える割合が80%である。(第5学年 前年比:20%↓)
- 男女
 - ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える児童の割合が87%であった。(第5学年 前年比:5%↓)

体力面での課題

- 男子
 - ・県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較において、「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較において、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 学校全体
 - ・総合評価D及びEの児童の割合が全体で32%である。(前年比4%↑)

令和8年度の重点目標値

- 「長座体前屈」「上体起こし」「立ち幅跳び」を県平均及び全国平均値以上にする。
- 総合評価D及びEの児童の割合を全体の30%未満にする。
- 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える児童の割合を男女とも90%以上にする。